

国際協力銀行(JBIC) 第4回円借款事後評価 フィードバック委員会

2003年11月


JBICプロジェクト開発部

開発事業評価室



目次

- I . 2002年度分事後評価活動概要
- II . 2003年度分事後評価活動概要
- III . フィードバック計画
- IV . FB委員会提言フォローアップ



I . 2002年度分事後評価活動概要

3つの100%達成

- 評価カバー率100% : 完成後2年以上の全ての案件を対象として評価。
- 公表カバー率100% : 評価結果を順次、HPに掲載。
- 第三者評価カバー率100% : プロジェクト評価の「第三者意見」、及びより専門性の求められるプログラム評価の第三者評価によって、客観性・中立性を確保。



1. プロジェクト評価(15カ国、50案件)

セクター/地域	アジア	中東・欧州	アフリカ	中南米	合計
1.電力	7	1			8
2.運輸	20				20
3.通信	4			1	5
4.農業・治水	3				3
5.鉱工業	2				2
6.社会的サービス	9			3	12
合計	45	1		4	50


* プログラム評価にて新規に評価対象とした事業を含む(再評価を除く)



《フィードバック事項》

(1) 計画の妥当性

- ほぼ全ての事業で借入国政府の政策・開発計画（採択時、事後評価時）に合致。現時点でも需要が高く、重要な役割を担い、妥当性を有している。
- 一部の事業については、関連事業への配慮が不足、需要見込みが過大。



(2) 実施の効率性

- 事業範囲：通信セクターではスコープ見直しで技術進歩に対応。
- 事業費：概ね計画通り。
- 工期：事業用地の確保、調達手続における遅延が多い。



(3) 効果

- 多くの事業で効果が発現。セクター別の事例は以下の通り。

[運輸]: 道路交通量急増に対応、走行時間短縮、渋滞緩和(インドネシア,タイ,スリランカ)。航空輸送安全性・定時性向上(中国,キルギス,PNG)。

[社会]: 水道普及率向上(エルサルバドル,グアテマラ)。ゴミ収集、保健医療サービス拡充(インドネシア)。中学校施設、科学技術教育の充実(インドネシア,フィリピン)。



[電力]: 供給能力不足に対応、停電時間大幅短縮(中国,ラオス,インド,ヨルダン)。

[通信]: 容量・回線数増で急増する需要に対応(中国,インドネシア,パラグアイ)。

[農業]: 農業生産性向上(インドネシア)。



(4) インパクト

- 事業によるインパクトのセクター別の事例は以下の通り。

[運輸]: 地方道路や橋梁事業による地域経済活性化、市内物流改善。

[社会]: 水へのアクセス、保健・衛生状況など生活環境の改善。就学率・進学率の維持向上、産業界への人材供給。

[電力][通信]:
地域産業の振興、首都圏との格差是正。


[農業]: 受益者の生計向上。

[鉱工業]: 輸出振興、地場産業育成



(5) 持続性・自立発展性

- 発電所等の比較的規模の大きい事業の維持管理状況は概ね良好。
- インドネシアにおいては、地方分権化に伴う維持管理上の権限・責任体制の速やかな明確化が必要。
- 道路事業では、維持管理のための予算確保が各国共通の課題。
- 電力・水道事業では、持続性への政府公共料金政策の影響が大きい。料金回収率改善や、公的機関の役割と民間参入のあり方が課題。
- 通信事業では、民活導入を通じて、運営を効率化、他事業者との競争に対応。




2. プログラム評価

(1) テーマ別評価：4件

- ① インドネシア：「ジャボタベック圏鉄道網総合インパクト評価」
- ② フィリピン：「アンガット給水拡大事業民活導入評価」
- ③ ベトナム：「北部交通インフラ事業インパクト評価」
- ④ スリランカ：「大コロンボ圏上水事業インパクト評価」

(2) 国別・セクター別概評：3カ国1セクター

- ① インドネシア、② バングラデシュ、③ インド、
- ④ 人材育成



① インドネシア

「ジャボタベック圏鉄道網総合インパクト評価」

(フィードバック事項概要)

- ① 通勤鉄道網の整備は、交通政策、都市整備、環境対策等種々の面で妥当
- ② 持続性確保のための課題は以下の通り

通勤専用列車、環状列車の導入/マーケティング・運賃戦略の充実維持管理体制の充実とドナーからの支援/
都市内公共交通、フィーダー交通の拡充/駅周辺拠点整備、沿線住宅開発の推進

フィードバック: 2003年2月(行内)、3月(ジャカルタ)



②フィリピン

「アンガット給水拡大事業民活導入評価」

(フィードバック事項概要)

- ① 民活導入により、給水率・水圧・水質等水供給サービスが向上
- ② 都市部貧困層への特別配慮・教育が功奏
- ③ 教訓として挙げられた点は以下の通り
民活導入前の政府・企業間の相互理解/料金調整方法の明示、外国為替変動リスクへの対応メカニズム/
民活を監督する調整局の役割の明確化/コンセッション企業へ権限委譲、人材育成

フィードバック: 2003年6月(一般)、8月(マニラ)



③ベトナム

「北部交通インフラ事業インパクト評価」

(フィードバック事項概要)

- ① 国道・港整備により、外国投資の増加、産業活動の活性化等地域経済発展、一人当たり所得の増加に貢献
- ② 政府/民間/ドナーの参加を通じたインフラと制度の整備により産業集積が可能
- ③ 周辺農村部住民に対し、低利融資制度等の経済活動支援、雇用機会の提供が必要
- ④ セーフティネット等の貧困削減政策の工夫
- ⑤ 農産物流通構造の効率化

フィードバック: 2003年6月(ハノイ)




④スリランカ

「大コロombo圏上水事業インパクト評価」

(フィードバック事項概要)

- ① 事業のインパクト及び持続性を拡大するためには
下記の「ソフト面」の課題に十分な配慮が必要
実施機関職員の能力向上/適切な生活基本料金の設定
貧困層利用促進のための接続料金の簡素化
実施機関の機能強化/民活導入の検討
消費者と政策決定者の対話戦略の策定
- ② 大規模インフラ開発の場合、中間評価及び定期的な監理が不可欠

フィードバック: 2003年6月(一般)、7月(コロombo)



(2) 国別・セクター別概評

- 目的:

過去の事後評価結果から見た主要国・主要セクター別のパフォーマンス総括による将来の円借款事業改善

- 2002年度対象

- 国別: インドネシア、バングラデシュ、インド

- セクター別: 人材育成

- レビュー方法:

DAC評価5項目(計画の妥当性、実施の効率性、効果、インパクト、持続性)を細分化したチェック項目ごとに各事業の事後評価結果を再整理し総括。



Ⅱ．2003年度分事後評価活動概要

1. プロジェクト評価

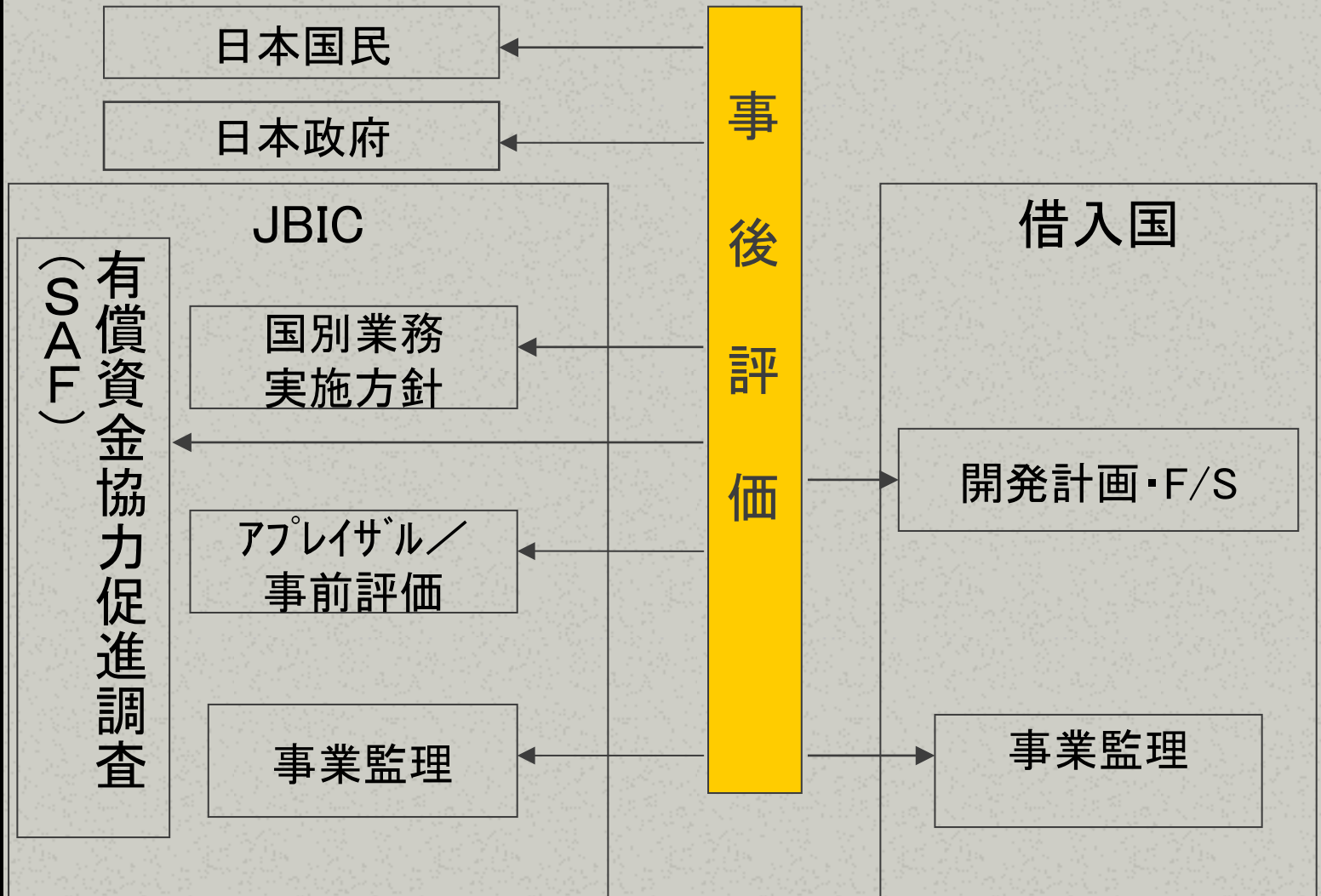
18カ国50案件について評価を実施中


2. プログラム評価

以下の6件について評価を実施中

- インドネシア:「保健セクター目標に対するインフラの関連性評価手法開発」
- フィリピン:「メトロセブにおける円借款事業の貢献に係るインパクト調査」
- 中国、インドネシア:「アジア諸国IT事業評価」
- インドネシア:「環境インパクト評価」
- フィリピン:「環境サステナビリティ評価」
- フィリピン、パキスタン:「灌漑事業における参加型アプローチの評価」(ADBとの合同評価)

Ⅲ. フィードバック計画





1. 借入国へのフィードバック

- (1) フィードバック・セミナー開催（主にプログラム評価）
 - 2002年度分テーマ別評価4件実施済
 - 2003年度分
 - インドネシア:「環境インパクト評価」(2月予定)
 - フィリピン:「メトロセブにおける円借款事業の貢献に係るインパクト調査」(3月予定)
- (2) 教訓・提言事項を明確化し、対処を求めるレターを該当借入人・事業実施機関に送付（主にプロジェクト評価）
- (3) 報告書Web公表、要約版配布




2. 日本国内へのフィードバック

- (1)フィードバック・セミナー開催
- (2)報告書要約版・全文のWEB掲載

3. JBIC職員へのフィードバック

- (1)評価委員会での協議(済)
- (2)役員会、課長会各報告(済)
- (3)若手職員へのフィードバック(済)
- (4)評価検索システムの拡充



IV. FB委員会提言フォローアップ^o

(資料1)

1. アプレイザル時のログ・フレーム作成
2. 評価の評価
3. 第三者インパクト評価
4. 評価報告書アンケート